

令和5年10月吉日

正会員首長 各位
特別会員首長各位

特定非営利活動法人
地域共生政策自治体連携機構
事務局長 石井 信芳

令和5年度「首長連絡会」並びに「情報交換会」のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より当機構の運営に格別のご理解とご協力をたまわり、厚く御礼申し上げます。

例年、年末に開催しております「首長連絡会」並びに「情報交換会」につきましては、通常総会資料に記載のとおり今年度は12月26日(火)に開催することとしております。

* 「会場参加」方式での開催です。

* 首長、副首長に限らず、職員の方々もご参加いただけます。

下記のとおりご案内申し上げますので、ご多忙な中とは存じますが、どうかご出席たまわれますようお願い申し上げます。

* 感染症の流行状況等に照らし、所要の調整をさせていただくことがあります。

謹白

記

1. 日 時

令和5年12月26日(火)

首長連絡会 14時30分～ 受付開始

15時 ～ 首長勉強会(プログラムは、別添のとおり)

情報交換会 18時30分～

* 恒例により、わがまち自慢の銘酒等を持ち寄っての交流の場とできればと考えております。厚かましいお願いでございますが、今回も地酒などご恵贈いただければ幸甚です。

どうかよろしくようお願い申し上げます。

2. 会 場

ホテルグランドヒル市ヶ谷 【東館3階 瑠璃】

東京都新宿区市谷本村町4番1 (TEL 03-3268-0116)



地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅(7番または6番)出口から徒歩3分
地下鉄 都営新宿線
市ヶ谷駅(4番)出口から徒歩3分
JR 中央線(各駅停車)
市ヶ谷駅から徒歩3分

<https://www.ghi.gr.jp/access/index.html>



3. 参加費

首長連絡会	正会員	無料
	特別会員	3,000円 (旧 人口減少に立ち向かう自治体連合会員)
情報交換会	1自治体につき1万円	

※ 参加費は、当日に申し受けます。

4. 参加申込

別紙 出欠票 (参加申込書)を12月8日(金)までに、c2p@network.email.ne.jpへメールにて **Excel**データを送信してください。

なお、出欠票 (参加申込書)の様式は、お手数をおかけいたしますが、

当会 HP (<https://jichitai-unit.ne.jp/network.html>) ⇒ **お知らせ一覧** ⇒ **2023年度首長連絡会・情報交換会 開催について** ⇒ **首長連絡会・情報交換会 出欠票**

(https://jichitai-unit.ne.jp/dcms_media/other/R5con_app.xlsx) からダウンロードしていただくか、出欠票 (参加申込書)の送信指示を c2p@network.email.ne.jpへメール願います。頂きましたメールに申込書を添付し返信いたします。

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 地域共生政策自治体連携機構

✉ c2p@network.email.ne.jp

[TEL:03-3266-1651](tel:03-3266-1651)

FAX:03-3266-0223

事務局長 石井 (事務取扱 高松)

令和5年度 首長連絡会プログラム

12月26日(火) 15時～ ホテルグランドヒル市ヶ谷

(講師敬称略)

15:00	開会 代表理事挨拶、来賓挨拶	東館3階 瑠璃
15:10 ～16:10	講演 明日から使えるナッジ理論 ～住民の健康寿命を伸ばすた めに～(仮題)	講師：山本 精一郎 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科教授
	休憩	
16:25 ～17:25	講演 脳科学から見る認知症(仮題)	講師：恩蔵 絢子 東京大学大学院総合文化研究科 特任研究員
	休憩	
17:35 ～17:55	全世代型社会保障改革関連予算 など	講師：山崎 史郎 内閣官房参与 内閣官房 全世代型社会保障構 築本部事務局総括事務局長
17:55 ～18:10	来年度の地域共生社会推進全国 サミット in いこま について	奈良県生駒市
18:10	閉会挨拶	
18:30 ～20:30 (予定)	情報交換会	東館2階 白樺 立食形式

【参考】

近年、ナッジ理論が注目され、厚生労働省でも施策への活用が図られています。一人目の講師にお迎えする山本精一郎氏は、国立がん研究センター保健社会学研究部長在任時に「明日から使えるナッジ理論 受診率向上施策ハンドブック」を取りまとめるなど、この分野の研究を進めておられる方です。

また、二人目の講師にお迎えする恩蔵絢子氏は、著書「脳科学者の母が、認知症になる」(河出書房新社)が話題を集め、NHKスペシャル「認知症の母と脳科学者の私」などが放映されましたので、ご存知の方も少なくないと思います。

首長、副首長に限らず、これらの分野をご担当の職員の皆様のご参加も歓迎いたします。